

一太郎のすごいところガイド

by Kazutaro V.5

第4回 自由サイズ・フォント文字・アウトラインフォント

大きなゴシック体を使ってタイトルを作ったり、小さい文字を使って小声を表現したり。こんなことは、ワープロ専門機なんかじゃ簡単にできるのに、今までの一太郎ではできなかったのだ。正直、この機能に関してはワープロ専門機がうらやましかったぞ。

それがようやく Ver.5 になってできるようになった。万々歳ですよ。ほんま。

1 文字サイズ

今までの文字サイズは、縦倍角・横倍角・4倍角・縮小文字程度。ほんま、貧相としか言いようがなかった。半角漢字もできなかったのだ。

Ver 5 での追加機能としては、半角漢字と文字の自由サイズ指定だ。

[esc N H と esc N J]

半角漢字は、表中の文字入力に効果絶大。

自由サイズは、なお使い道が多い。

自由サイズは、文書全体・行単位・文字単位と指定できるので、目的に応じて使い分けることができる。

250ポイントになると、だいたい9cm角くらいの字が印字できる。

大阪府 豊中市 新千里 西町
8 p 標準 15 p 20 p

これでようやくワープロ専門機と並んだと言って良いだろう。

2 フォント設定

今までのフォントはせいぜいプリンタが持っている書体を使える程度。しかもプリンタ側でゴシックや毛筆体を持っていなければどうしようもなかった。

今回、日本語は明朝体とゴシック体の2種類のフォントがある。英文字は7書体だ。これにプラスしてプリンタの持っているフォントも使える。これによりかなり表現力が高まったと言えるだろう [esc R]

さらにパソコンソフトの有利な点としては、オプションで様々な書体が様々なメーカーから販売される（後から付加できる）ということだ。

大阪府 豊中市 新千里 西町
I went to Okinawa last summer.

上の例は、順にプリンタの明朝・プリンタのゴシック・一太郎の明朝・一太郎のゴシック・様々な欧文体だ。

3 アウトラインフォント

オプションになるが、明朝・ゴシックと英文7書体のアウトラインフォントが販売されている。アウトラインフォントを使うと、拡大文字などを、ギザギザのない、なめらかなカーブを持つ文字で印字できる。

アウトラインフォントを使えば、どのようなプリンタでも、美しい大きな字が印字できる、ということになってはいるが、実際は、ドットプリンタは役不足だ。もちろんレーザープリンタなら早くて綺麗だが、熱転写プリンタやインクジェットプリンタでもそれなりの美しい印刷はできる。

また最近のプリンタではプリンタ側でアウトラインフォントを持っていることも多い。こういうプリンタならば、特別にフォントを購入しなくても良い。一太郎側がプリンタの機能をフルに使うと言うことだ。

1～3の機能を使うことで、今まで役所の資料みたいなお堅い感じの文書しか作れなかったのが、少しはビジュアルな見やすい文書が作れるようになるのではないかと思う。作ろうと言う意志がないとダメでしょうけど。

第4回 おわり

顰蹙餃子
顰蹙餃子

顰蹙餃子
顰蹙餃子



顰蹙餃子顰蹙
顰蹙餃子顰蹙
顰蹙餃子顰蹙
顰蹙餃子顰蹙